



## カーブミラー 磨いて 地域の 事故防止



津久志地区のボランティアグループ『ミラクル会』のみなさんです。ミラクル会では、津久志地区にある約60箇所のカーブミラーの清掃活動を年2回されています。11月11日、さわやかな天候のなか、みなさん楽しく雑談も交えながら、いきいきと活動されました。(詳しくは12ページへ掲載)

### 目次

新年のごあいさつ.....	2	権利擁護講演会.....	8
ボランティア入門講座・研修交流会.....	3	支援センターさくら.....	9
輪島市での災害ボランティアセンター運営支援、 歳末たすけあい募金街頭募金.....	4	コーヒーボランティア養成講座／献血.....	10
かるやかてごねっとだより.....	6	まごころ／ふれあい相談所.....	11
てごねっと研修会／さくらんぼ通信.....	7	ボランティア活動紹介.....	12

(広告)

世羅町に  
**司法書士事務所**  
**オープン**  
 しました!

司法書士 飯田 一生  
 広島司法書士会所属

令和6年 4月1日より  
**相続登記義務化**  
 が始まります。

相続登記 遺言  
 空き家問題 成年後見

業務のご案内  
 ◆不動産の名義変更  
 ◆相続登記・遺言  
 ◆借金の整理  
 ◆成年後見  
 ◆簡易裁判所訴訟代理  
 ◆会社の登記 など

で困りの方 ご相談ください!

心に寄り添い。ココロでおくるお葬式を。

セレモニーホール  
**風の里**  
 セレモニー・サービス

— 葬儀の相談を無料で承ります —  
 まずはお電話で、ご希望の日時・場所をお伝えください

〒722-1122 広島県世羅郡世羅町大字小世良80番地1



新年のごあいさつ



世羅町社会福祉協議会

会長 久保 辰昭



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平素から世羅町社会福祉協議会の事業運営に対しまして格別のご理解と温かいご協力をいただきありがとうございます。

昨年、世羅町社会福祉協議会及び世羅町合併20周年の節目を迎え世羅町合併20周年記念事業の助成を受け、盛大に社協フェスタを開催し、過去にない多くの皆様のご来場をいただき、世羅町社会福祉協議会の活動を認知していただいたのではないのでしょうか。

少子高齢化の波が進むなか、昨年国立社会保障・人口問題研究所が発表した都道府県別の世帯数によると、2050年には広島県の単身世帯数は全世帯数の42.6%になると推計されています。

今後益々、地域福祉の重要性が問われるなか、世羅町社会福祉協議会では、地域の皆様のご協力のもと新たな視点に立って知恵を出し合い「だれもが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせる」地域づくりを実現するため職員一同一丸となって取り組んでまいります。

終わりに、皆様の益々のご健康とご多幸を祈念しご挨拶いたします。

10月5日(土)

令和6年度 せら社協フェスタ

当日は天候にも恵まれ、福祉を中心とした様々なブースに子どもから大人まで約500名の方がお越しいただきました。

ご協力、ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました。

また、社協フェスタ内で「令和6年度世羅町社会福祉協議会表彰式」を行い、町内において福祉活動に功績のあった個人及び団体等を表彰させていただきました。

受賞者

(個人)

小国地区 竹保 伸二  
大田地区 尾越 照弘  
津名地区 井丸 菊江

(団体)

小国地区 鳴戸いきいきサロン  
大田地区 手話サークル桜  
大見地区 サロン百歳体操  
津名地区 上組サロン

※敬称略、順不同

紙ねんどで置物づくり



モルツク体験



サロンによる発表



来女木神楽団による神楽公演

開催  
報告

# 「ボランティア入門講座」と「ボランティア研修交流会」を開催しました!

11月9日(土) 甲山自治センターにおいて、午前はボランティア入門講座、午後はボランティア研修交流会を開催しました。

講師にあそびの工房 もくもく屋 事務局長 田川雅規様をお招きし、入門講座には参加者20名、研修交流会は17名の方に参加いただきました。

入門講座では、参加者の方がボランティアについて楽しく学んでいただけるよう、ボールペンやコミュニケーション麻雀の牌を使用したレクリエーションや、隣同士ペアになりお互い質問し合うことで、共感や安心感を抱かせるコミュニケーション術についても教えていただきました。

研修交流会では、ボランティア経験者の方々に参加いただき、サイコロや白紙を使用したレクリエーションを交えつつ交流を行いました。ボランティアを続けるためには、無理や我慢をしすぎず自分に合ったペースで行うことや、不安や不満などを誰かと話し共有することの大切さを教えていただきました。



隣の人と質問タイム



コミュニケーション麻雀の牌を使い  
リズムよく手を交互に出して遊びます



並び替えゲーム!田川さんも  
そばで応援してくださいました



講座を通して皆さん楽しく交流されました

どちらの講座も、参加者全員終始笑顔の絶えない様子で、「とても面白い内容だった!また受けたい!」「ボランティアに対する考え方が変わった」「いろいろな人と話せて楽しかった!」といった感想をいただきました。

今回の講座で、ボランティアとは「完璧ではなく、少しのことが出来ること」が大切というお話を通して、一人では出来ないことに対して悩んだとき、お互いさまの気持ちで助け合っていくことが仲間づくりにつながると感じました。そしてその仲間のつながりを広げていくには、自分自身が楽しむことが必要だと教えていただきました。

お問い合わせ 世羅町社会福祉協議会 世羅町ボランティアセンター (TEL22-3162)



# センター運営支援に関する報告

## (令和6年9月能登半島大雨災害)

世羅町社会福祉協議会では、この度令和6年9月能登半島大雨災害による輪島市社協支援への応援職員の派遣要請に応え、令和6年11月16日(土)から20日(水)まで、職員1名を派遣しました。被災地での、輪島市災害たすけあいセンター(輪島市での災害ボランティアセンターの名称)支援活動や現地の様子などについて報告します。

### 輪島市災害たすけあいセンターでの支援活動

5日間の被災地派遣では、主な活動として輪島市災害たすけあいセンターでの支援活動を行いました。ボランティアとしての土砂やがれき撤去の活動ではなく、ボランティア活動を円滑に進めるための「たすけあいセンターの運営支援」を担いました。

運営支援では、「会場設営・ボランティア受入・資機材管理・支援活動のアプ取り・マッチングシートの作成など」を行いました。被災者のニーズとして、地震による被害案件(がれき撤去など)と水害による被害案件(家屋や側溝の土砂かきなど)が顕在し、復興までの道のりがまだまだ長いと感じました。

連日、県内外から80~100名を超えるボランティアの方々が災害たすけあいセンターに来られました。一人ひとりボランティアに対する強い思いや輪島市復興への思いを聞くことができました。



### 輪島市の様子

金沢市内からレンタカーで2時間30分程かけ輪島市へ移動する道中で、地震による家屋の倒壊や一部損傷、道路の亀裂や崩落、大雨による爪痕など、多く目にしました。テレビやSNSの投稿で被害の様子は見ていましたが、実際に見る被害の大きさに胸が痛みました。

能登半島地震から1年、大雨災害から4か月が経過しようとする中、ボランティアによるニーズ対応は進んでいますが、全壊・半壊家屋の撤去及び修理や道路修理などの支援は手が付けられていない箇所が多く見られました。

元の生活に戻るまでの道のりはまだ遠く、継続的な支援がこれからも必要だと強く感じました。



# 輪島市での災害ボランティア

## 活動を通じての感想

被災地派遣を通じて、「人が持つ思いの強さ」を感じることができました。今回は、災害たすけあいセンターでの活動だったため、ボランティアの方と接する機会が多くありました。その中で、「自分の活動は小さいかもしれないが、復興を願って集まったみんながいれば、活動は大きく強いものになる」と話された方がおられました。この強い思いが支援活動に必要であり、人を支えるための活力になっているのだと思いました。

今回の経験を普段の業務に活かすだけでなく、この災害を風化しないように多くの方に伝えていきたいです。（報告者 徳永）



## 『歳末たすけあい募金』街頭募金を行ないました



12月1日（日）、マックスバリュ世羅店、道の駅世羅、せらにしタウンセンターにおいて、備北地区郵便局長会世羅部会及び備北地区郵便局長夫人会世羅部会の方々のご協力のもと、歳末たすけあい募金の街頭募金活動を実施しました。歳末たすけあい募金は、共同募金運動の一環として、12月1日より全国一斉に取り組みが始まっています。



歳末たすけあい募金は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるようにと始まった活動で、世羅町では、赤い羽根共同募金とともに、住民のみなさまの参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に、各地域において展開されています。

つながり、ささえあう、みんなの地域づくりをすすめるため、みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。







# かろやかでござねっとだより

## 世羅高等学校生徒と一緒に窓拭きをしました



窓の外と内と2名のペアで行いました。

12月5日に世羅高等学校生活福祉科生徒6名が2グループに分かれて2件の利用者宅を訪問し、かろやかさん（協力員）と一緒に窓拭き活動を行いました。生徒は手際良く活動し、1時間後きれいな窓ガラスになりました。

利用者から「いつもは、手の届かない所がきれいになってありがたい」「生徒から元気をもらって嬉しい」など大変喜ばれました。生徒のみなさんからは「貴重な体験ができました」「とても楽しかった」と有意義な活動となりました。



生徒とかろやかさんと一緒に行いました。



きれいになった窓で大満足。利用者と話ができて良かったです。ありがとうございました！



## 活動紹介

### 年末に向けて「ちょっとした困りごと」のお手伝いをしました



**風呂掃除**：お風呂の高い所のカビが気になって頼まれました。カビ専用の洗剤を使用し湿布して掃除をし、きれいになりました。



**台所の掃除**：高い所の掃除が難しく頼まれました。きれいになると気持ちが晴れたと言われました。



**障子はり**：腰を痛めてから障子はりに悩んでおられました。障子紙を剥がしたところから、かろやかさん2名で障子はりを行いました。きれいな障子でお正月が迎えられると喜ばれました。

この事業は、社協会費や共同募金配分金などを活用して行っています。

「ふくぼう」©世羅町社協



# てごねっと研修会の報告

11月18日に、整理収納アドバイザー沖田仁美様をお招きして「お片付けの進め方」講座を開催しました。片付けの基本から学び整理・収納・整頓の方法を具体的に研修し、整理の目的や効果を学びました。今回の研修で得たお片付けの方法や知識を参考にし、これからのてごねっとの活動に生かして取り組んでいきたいと思ひます。



からやかさんに聞きました  
「てごねっとの魅力」は何ですか？

- ・人のために何かできて、してあげられること
- ・人生の先輩から学びを得ること
- ・ちょっとだからできる
- ・喜んでもらえるから生き甲斐になる

**からやかさん (協力員) を募集しています！**

- ・空いた時間を利用して、困っている方のお手伝いを一緒にしませんか？
- ・1件について概ね2時間までの活動です
- ・年齢や資格は、問いません

第40号 令和7年1月号 **世羅町ファミリー・サポート・センター**



# さくらんぼ通信

子育ての援助をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって地域で助け合います。

## 活動紹介

甲山自治センター2階の和室で預かりました。



お試しの預かりは、お父さんと一緒に過ごしました。



初めての預かりです。おもちゃと一緒に楽しく遊びました。



2人の子どもを2人の提供会員で預かっています。

**会員募集中！**

<b>依頼会員</b>	生後6カ月から小学校6年生の保護者	<b>提供会員</b>	子育て援助活動に理解と熱意のある方
-------------	-------------------	-------------	-------------------



権利擁護  
講演会

# 「理想のエンディングをかなえるための 法的手続き」に関する研修会

講師：尾道公証役場 石本 仁 先生



11月12日（火）せら文化センターにおいて、権利擁護の研修会を開催しました。

成年後見制度、遺言、尊厳死宣言、死後事務委任契約等について、実際に遺言等を作成される公証人ならではの視点でお話ししていただき、皆さん真剣に聞き入っていらっしゃいました。

何をどう整理しておいた方がいいか、自分の望むような老後や死後のためにはどういった制度を利用して備えたらよいかについて説明をしていただき、今から備えておけば万が一のときにはスムーズに対応できることを学びました。

また、法的な部分だからこそ専門職の助けを借りられたほうが安心であるとも皆さん感じられたようです。



## 権利擁護センターほっと



**無料相談**

要予約

月曜日～金曜日

9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)

ご自分のことやご親族、気になる方のことなど、ちょっと聞いてみたい、相談してみたいと思われる方はお気軽に世羅町社会福祉協議会へお問い合わせください。

ほんまは最近、  
物をよく忘れて不安じゃけど、  
誰に相談すればええんか  
分からん。  
格好悪いし、よう言わんわ。



お問い合わせ先／世羅町社会福祉協議会本所 22-3162



## 家族介護教室

地域型支援センターさくらでは、要介護1～5の介護認定を受けられた方を自宅で介護されている家族を対象とし、介護方法や介護予防などのお話や創作活動を行っています。

今回は9月、10月の教室、11月の交流事業をご紹介します。

### 9月 「ネイル体験」

秀浦美佳さんに爪の手入れをしていただき、その後沢山のネイルカラーの中から好みの色を選び爪に塗っていただきました。

やさしい色を選ばれた方が多く、ネイルがはじめての方もおられとても喜んでいただきました。



### 10月 「介護技術・認知症の方との関わり方」

亀田美香さんに日常生活で大切な事は、立つ事と座る事と教えていただきました。

認知症の方との関わり方では、話は短く間を取りゆっくり声のトーンに気を付けて優しく話すと相手も興奮しないと教えていただきました。



※令和7年1月「感染症、ヒートショックについて」、2月「福祉用具について」、3月「手芸作品づくり」を予定しています。参加をご希望される方は、下記までご連絡をお願いします。

## 家族介護者交流事業

日帰り旅行で介護している方同士が交流し悩みを共有軽減して日頃の疲れをいやし、リフレッシュしていただくための事業です。

### 11月「奥田元宋・小由女美術館、三次ワイナリー、桜花の郷ラ・フォーレ庄原」

11月22日 三次市と庄原市に行きました。

美術館では、企画展で熊田千佳慕の昆虫や動物の細かな毛が一本一本描かれ、植物の葉脈が写真のように表現されている絵を鑑賞しました。

桜花の郷 ラ・フォーレ庄原で昼食をいただき、ゆっくり過ごされました。3地区合同で行い、久しぶりの再会を喜び、次回の参加を約束されている方もおられました。



社会福祉法人 世羅町社会福祉協議会 地域型支援センターさくら

(担当) 甲山地区：泉 電話：(0847) 22-5147

世羅地区：曾根 電話：(0847) 22-5147

世羅西地区：増田 電話：(0847) 37-1335

# コーヒーボランティア養成講座 報告



## 11月23日(土) 第1回「コーヒーボランティアを知ろう」編を開講しました!

広島市安芸区で活躍されているコーヒーボランティアグループ「ロマンスグレーCafe」のみなさんから、コーヒーボランティアとは何か、どんな活動をしているかなど、コーヒーを淹れる実演も見ながらお話を聞きました。



まず、コーヒー豆を煎る作業から始まり、豆をミルで挽き、コーヒーを淹れる一連の動作を見せていただきました。普段飲んでいるコーヒーよりも、煎り立て挽きたてのコーヒーは味や深みが格段に異なり、とても美味しいコーヒーでした。



ロマンスグレーCafeのみなさんから、「活動を通じて嬉しいと思うことは、コーヒーを飲んだ時に美味しいと言われること」と話され、人のために淹れる喜びがこのボランティア活動にあることを知りました。

参加者からは、「コーヒーを淹れることで人の輪がつながり、何か地域活動ができれば」と意見が挙がり、大いに盛り上がった交流になりました。

## 11月30日(土) 第2回「コーヒーについて学ぼう」編を開講しました!



caffe fresco Nagi 代表 佐々木 恵子様とCAFE RICO 中本 美代様を講師にお招きして、コーヒーに関する基礎知識、焙煎の仕方、淹れ方などについて学びました。



コーヒーに関する基礎知識の際に、「新鮮なコーヒーは焙煎後、豆で約7日、粉で約3日」と話され、美味しいコーヒーを飲むためには煎りたて挽きたてがポイントであることを学びました。



実際にコーヒーを淹れる際には、お湯をコーヒーの粉の中心に「のの字、のの字」と500円玉ぐらいの円を描くように注ぐことを意識し、30秒蒸らし、その後一定の量を注ぎ淹れ、抽出したコーヒーを軽く混ぜて出来上がりとなります。

講座を通じて、「コーヒーが好き」から「コーヒーが生きがい」になり、何か今後のボランティア活動につながるきっかけになればいいと思いました。

## 献血のご協力ありがとうございました

11月22日(金)に、甲山農村環境改善センターと世羅保健福祉センターにおいて、400ml献血を実施しました。ご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。

**受付人数：計75人(うち献血者:64人)**

今後も世羅町献血推進協議会では、献血者の皆さまの善意に感謝し、大切な命を守るといふ使命を果たして参ります。

	午前	午後
場 所	甲山農村環境改善センター	世羅保健福祉センター
受付人数	43人	32人
献 血 者	40人	24人

※体調や血圧などに問題があった方に対しては、健康面を配慮して献血をご遠慮していただいております。



# まいじろ

つぎの方々より、社会福祉協議会へのご寄附、フードバンク・物バンクへのご寄附をいただきました。地域のみなさまの福祉のために、大切に活用させていただきます。

今回は、令和六年九月～令和六年十一月末までにご寄附いただいた方を掲載しています。  
なお、まことに勝手ながら敬称ならびに、金額・物品の内容は省略させていただきますのでご了承ください。(敬称略)

## ◎香典返し

- 東上原 前中 和美(故 美枝)
- 本郷 岡本 義人(故イチヨ)
- 寺町 小池田紀雄(故 君子)
- 本郷 泉谷恵美子(故 節男)
- 重永 夏見 弘則(故 正昭)
- 宇津戸 内海萬亀子(故 正明)
- 安田 佐々木ちとせ(故 正明)
- 安田 西谷 幸子(故 龍川イヨ)
- 小世良 秋山千代子(故 中光政)
- 小世良 岡田 信洋(故 郁子)
- 小谷 沖永 肇(故キクエ)
- 川尻 後 浩二(故 高雄)
- 重永 堀田 裕介(故 敏明)
- 田打 岡田 以得(故 治江)
- 東上原 門脇 裕子(故 安子)

- 西上原 宮地むつみ(竊作事)
- 東上原 中谷 岩水(故 輝子)
- 川尻 松井 擴(故 宮子)
- 田打 山崎 伸志(故 秀生)
- 川尻 内海 慎一(故 義之)
- 伊尾 山田谷 誠(故 清史)
- 青水 岡田 典夫(故 忠子)
- 東上原 黒木 啓之(故 義夫)
- 重永 堀田 二男(故 慶子)
- 川尻 寺垣内八章(故 清隆)
- 伊尾 森迫 正創(故 芳江)
- 賀茂 田淵 洋(故 康豊)
- 小世良 清原 典子(故 幸子)
- 小谷 則末 勝志(故 伸夫)
- 赤屋 内海 裕二(故 貞男)
- 青近 黒木 敏雄(故 静江)
- 神戸市 藤川 芳博(故シゲ子)
- 小国 実藤 啓二(故 正巳)
- 小国 宮本 眞弓(故 博)

## ◎見舞返し

- 黒川 中村 範人

## ◎その他

- 匿名 藤沢市 ㈱小林商行

合計 八〇四、〇〇〇円

☆本会への寄附金は、所得税・住民税法人税の寄附金控除が受けられます。

- ◎物バンク 匿名 1件

## ◎フードバンク

- 小世良 かつちゃん工房 小林 勝治
- 西大田地区振興会連絡協議会 匿名 18件

## 生活に困っている方へ食料品を寄附していただけませんか？

本会では病気等さまざまな原因により生活が苦しく、十分な食料品を購入できない方へ、**フードバンク事業**を通じて食料品の提供を行っています。特に**お米**や手軽に食べる事のできる、**インスタント食品**が不足しております。ぜひ、協力をお願いします!!

## 令和6年度 ふれあい相談所開設予定

月	日	曜日	重点相談	開設場所	開設時間	関係機関
1	29	水	相続なんでも相談(要予約)	社会福祉協議会本所	13時30分~17時	尾道公証役場
2	26	水	無料法律相談(要予約)	社会福祉協議会世羅西支所	10時~16時30分	弁護士法人リーガルジャパン
3	26	水	無料法律相談(要予約)	社会福祉協議会本所	10時~16時30分	弁護士法人リーガルジャパン

※お困りごとがある際は社会福祉協議会の職員が随時相談対応いたします。お気軽にお越しください。

### 【お問合せ先】

- 本所 〒722-1121 世羅郡世羅町西上原426-3 世羅町社会福祉協議会本所 ☎22-3162
- 支所 〒722-1701 世羅郡世羅町小国3393 世羅町社会福祉協議会世羅西支所 ☎37-1335

【広告】

## 世羅町社協の LINE公式アカウント

社会福祉法人 世羅町社会福祉協議会

世羅町社協

@169wowht



印刷の原点を大切に、新しい時代への進化を成します

## シンセイアート株式会社

www.shinseiart.com E-mail: info@shinseiart.com

本社・工場 〒727-0004 広島県庄原市新庄町5088-58 TEL.0824-72-7890 FAX.0824-72-2128

三次営業所 〒728-0013 広島県三次市十日市東六丁目13-35 TEL.0824-62-3716 FAX.0824-62-5635

ボランティア活動紹介

# カーブミラーをピカピカに★

## ミラクル会の活動紹介



カーブミラーを清掃するボランティア団体『ミラクル会』の活動をご紹介します。

現役を引退されたグループの方が、地域への貢献活動として約20年前の、平成17年2月に会を発足され、今では7名のメンバーが楽しみながら活動されています。津久志地区に設置されている約60枚のカーブミラーを1枚ずつきれいに磨いて、住民の方々の事故防止にもつながっています。

11月11日、さわやかな天候のなか今年の清掃活動が始まりました。活動日前に世羅警察署へ道路使用許可の申請をされ、活動中は赤いコーンを道路に立て、周囲の安全を確保しながら進めます。

### ～活動の流れ～

- ①洗剤を付けたブラシでミラーを磨き、汚れをとる。  
※カーブミラーに枝や葉っぱが覆いかぶさり見えにくいときは、枝を切り、葉っぱを取り払う。
- ②洗浄機で洗剤や汚れを洗い流す。  
※不法投棄があれば、関係機関に連絡したり、活動中、気づいたことや気になる箇所があれば、関係機関に情報提供をする。



コミュニケーションをしっかりと、楽しみながら活動することを大切にされています。

また、津久志地区の住民や津久志地区を通る方々の交通事故防止につなげるだけでなく、活動そのものが生きがいつくり、仲間づくり、地域に住む方々のつながりづくりにつながっているそうです。



この活動は赤い羽根共同募金を財源にしています。

### ●●● 編集後記 ●●●

あけましておめでとうございます。今年の干支は「巳(み)」です。蛇は、脱皮を繰り返すことから不老長寿の象徴とされており、また、弁財天の遣いとも言われています。巳年が皆さまにたくさんの福をもたらし、巳(み)のり多い一年になりますようお願い申し上げます。(久保)